

# 令和3年度 かほく市創生総合戦略 推進計画事業に係る外部評価委員会会議録

令和3年9月17日（金）10:00～  
かほく市役所 3階 302会議室

開会	
市長あいさつ	かほく市長 油野 和一郎
委嘱状交付	新型コロナウイルス感染防止対策のため事前に席上に配布
委員紹介	学識者 石川県立看護大学 教授 濱 耕子 商工団体 かほく市商工会 会長 南 春夫 市民代表 かほく市町会区長会連合会 会長 西田 省三 女性団体 かほく市女性協議会 会長 松村 千恵 農業団体 石川かほく農業協同組合 代表理事専務 村井 一宏 金融機関 株式会社北國銀行 公務部部長 徳田 敦 労働団体 P F U労働組合 執行委員長 富永 慎弥
事務局紹介	総務部長 虎谷 寛 企画振興課長 庭田 一彦 課長補佐 荒井 三盛 係長 竹本 美生
委員長、 副委員長選出	○委員長の選出について 委員より濱委員の推挙があり、全会一致で石川県立看護大学の濱委員を委員長に選出した。  ○副委員長の選出について 委員より南委員の推挙があり、全会一致でかほく市商工会会長南委員を副委員長に選出した。  濱委員長、南副委員長あいさつ
議事	～濱委員長による議事進行～

議事	<p>①第2期かほく市創生総合戦略推進事業個票の改訂について 事業個票の改訂について資料1に基づき事務局より説明を行った。 第2期かほく市創生総合戦略推進計画を策定するにあたり、議会の行政評価を踏まえ事業個票の改訂を行った。 かほく市の総合戦略の体系は5つの基本目標があり、それぞれの基本目標に基本方針が続き、次に各事業が続く。第1期には50事業あったが、今回の第2期では35事業に絞った。第1期ではそれぞれの事業に個票を作成していたが、第2期では関連する複数の事業をまとめて1つの個票とすることで集約を図った。</p> <p>②第2期かほく市創生総合戦略推進計画事業の評価結果等について ○第2期かほく市創生総合戦略推進計画事業成果状況 資料2及び別紙資料①に基づき事務局より説明を行った。 目標の達成度を測る対象事業は33事業あり、そのうち目標値を達成できた事業（達成度100%以上）は17事業。目標値を概ね達成できた事業（達成度80%以上）が5事業。目標値を達成できなかった事業が11事業であった。結果、令和2年度における目標値の達成割合は67%ということで概ね3分の2が達成となった。 なお、2事業については今年度評価対象外とした。</p> <p>○かほく市創生総合戦略推進計画の施策体系別状況 ○かほく市創生総合戦略推進計画の事業別執行額 ○令和2年度末かほく市人口ビジョンの状況について 資料2及び別紙資料②～⑥に基づき事務局より説明を行った。</p>
委員からの質問・意見	<p>&lt;委員&gt; 事業個票 NO.31 の KPI「全国大会等出場への助成者数」について、目標値と実績値が大きくかけ離れている（R2目標値「250」→実績値「28」）が、目標値は変更しないのか。</p> <p>&lt;事務局&gt; 令和2年度は、コロナ禍で各種大会が中止となったことから、結果的には目標値を大幅に下回る結果となった。また、今年度も新型コロナウイルスの感染状況により目標値を変更するのは非常に難しいと考え、目標値の見直しは行わなかった。</p> <p>&lt;委員&gt; 事業個票 NO.22 の「国土強靱化地域計画の着実な遂行」の令和2年度実績について、予算には事業費がないが、決算額には計上されている</p>

<p>委員からの 質問・意見</p>	<p>のは緊急の事業実施があったからなのか。</p> <p>&lt;事務局&gt; 各個票は、あくまで各年度の当初予算で比較したものであり、令和2年度は国の補助金の確定を受け、6月に補正予算として計上したものである。</p> <p>&lt;委員&gt; 個票が35あるということでそれぞれ力を入れていると思うが、1つの事業についてそれぞれ何名の職員の方が対応しているのか。</p> <p>&lt;事務局&gt; 1つの事業について複数の課が担当することもあるため、人数については特に把握はしていない。しかし、複数の課が担当する事業については、10名程度の職員が携わっている。</p> <p>&lt;委員&gt; 創業支援という面においては目標値を達成されているが、金融機関でも創業という点では力を入れている。3年間はお客様と一緒に手取り足取り支援させていただくといった体制も整っているため協力できればと思う。また、きめ細やかな学校教育の推進ということで社会教育を推進していくと理解している。その中で金融教育について出来る体制を整えているところである。学校単位で金融教育という点で協力できると思う。小学校中学校となるとどこまで理解できるかという課題もあるが、相談しながら進めていければと考えている。また、高齢者へのスマホやキャッシュレスについても力を入れているのでご協力できればと思う。</p> <p>&lt;事務局&gt; 学校における金融教育や高齢者へのスマホ教室・キャッシュレス教室については、これまでも実施しているが、このようなご提案をいただいたことを報告させていただきたい。</p> <p>&lt;委員&gt; 南部交流ゾーン、北部交流ゾーンの活性化について、道の駅高松や、石川県立看護大学、グラウンドゴルフ場などがあり、施設的にも人材的にも豊富だと思うが、南部に比べると地道に進んでいるように思う。ワーキング会議を頻繁に開き、関係者に報告するなどして活躍できるようになればいいと思う。格式ばった有識者ではなく、地元の人、ぶどうを作っている人、グラウンドゴルフをしている人などを交えて北部を活性</p>
------------------------	---

<p>委員からの 質問・意見</p>	<p>化していくことができるように議論していただければと思う。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>北部交流ゾーンの活性化策については、いろいろ話はあるものの具体的な展開になっていない状況にあるが、粘り強く関係者と議論を進めていきたいと考えている。</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>かほく市に求められているものということで市民アンケート調査をされているが、その結果を見ると、「市政情報の入手方法」の項目では「広報かほく」がダントツでトップということだが、一方でケーブルテレビによる情報入手の割合がだんだんと下がっている点が理解し難い。ケーブルテレビはいろいろな情報を発信しているので役立っていると認識しているにも関わらず、データの的には反対になっている。インターネットやいいメールかほくで若者は情報を活用しているのかもしれないが、せっかくケーブルテレビというものがあるのだから、情報発信の仕方の問題があるのか、足りないのか、専門的に分析してもらい、活用促進してほしい。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>市からの情報発信は、様々な媒体（広報、ケーブルテレビ、いいメール、LINE、インスタグラム等）を活用し、引き続き情報発信に努めていく。</p> <p>また、ケーブルテレビについても番組内容の充実はもちろんのこと、加入促進に向けた取り組みについても引き続き検証や検討を行い、情報入手のツールやニーズの変化にも対応していきたい。</p>
<p>その他</p>	<p>特に意見なし</p>
<p>閉会</p>	<p>南副委員長あいさつ</p> <p style="text-align: right;">11時30分終了</p>